

産地活性化総合対策事業の薬用作物等地域特産作物産地確立支援事業(国産茶輸出拡大等促進支援事業)に関する事業評価票

1. 輸出用茶生産拡大への取組

(1) 成果目標が残留農薬低減の場合

都道府県名	事業実施主体名	薬剤名	データ収集・分析及び報告書の作成点数			〔事業内容 具体的な 取組内容〕	地方農政局長の意見
			現況 (26年度)①	本年度 (29年度)	目標 (29年度)②		
静岡県	静岡県	ピリミホスメチル乳剤	0	1	1	それぞれ143点のサンプルを採取し、各サンプルごとに先の薬剤を含む農薬残留分析結果の報告書を作成	成果目標を達成している。
		エチプロール水和剤	0	1	1		
		ピリフルキナゾン水和剤	0	1	1		
		テブコナゾール水和剤	0	1	1		

2. 国内マーケット創出のための高品質・低コスト生産への取組

(1) 成果目標が施肥量または労働時間の軽減の場合

都道府県名	事業実施主体名	受益者名	茶園面積	現況(26年度)①		本年度(29年度)		目標(29年度)②		増減率(%) ②/①		〔事業内容 具体的な 取組内容〕	地方農政局長の意見
				施肥量 (kg/10a)	労働時間 (時間)	施肥量 (kg/10a)	労働時間 (時間)	施肥量 (kg/10a)	労働時間 (時間)	施肥量	労働時間		
				静岡県	静岡県被覆栽培省力化技術普及協議会	孕石育利、村田雄哉 他 計4名	10(a)						
				88分/10a		148分/10a		69分/10a			(目標) 78% (本年度) 168%	・被覆作業時間等の調査 ・省力効果の実証 ・「茶の被覆作業省力化技術の手引き」の作成及び配布	受益者のほ場条件によって労働時間の削減効果が異なり、成果目標は達成していない。ほ場条件に応じた基準値の設定による成果目標の変更の検討も含め、改善計画を策定させ、再度評価を行う。